

令和3年度 小矢部市議会 議会報告会 報告書

| | | | | | | | |
|-------|---------------|-----|-------|------|--------|-----|-------|
| 開催年月日 | 令和3年11月26日(金) | | | 会場名 | 東蟹谷公民館 | | |
| 開始時刻 | 午後7時 | | | 終了時刻 | 午後8時 | | |
| 参加者数 | 男 | 30人 | 女 | 11人 | 合計 | 41人 | |
| 出席議員 | 嶋田 幸恵 | | 石田 義弘 | | 義浦 英昭 | | 加藤 幸雄 |

議会報告会での質疑・意見とその回答

| 質疑・意見の要旨 | 議員回答要旨 |
|---|--|
| <p>①マイナンバーカードを取得促進しているが、どんなことに使えるのか。また、デジタル化に対応できるのか。</p> <p>②小矢部市の財政は、3年、5年、10年先には、どうなっているのか。</p> <p>③新聞発表等で小矢部市の判断はいつも「検討中」だが、どういうスタンスなのか。何か理由があって意思決定が遅れるのか。</p> | <p>①今の小矢部市の段階では、コンビニなどでも使えない。今は、マイナンバーカードを取得してくださいというところで、3千円の商品券もつけて取得促進に取り組んでいる。デジタル化については、庁舎内に班を作ってこれから取り組むといったところである。</p> <p>②実質公債費率、将来負担比率は、基準内にいるが悪い。いま、こども園や図書館等の大型プロジェクトが終わったので、今後は安定すると思われるが、人口減などで税収も下がることもあり、企業誘致も積極的にやっている。</p> <p>③コロナだけでなく、休校のときも「検討中」で、市民に不安を与えていた。医師会等との協議もありなかなか結論が出せないとのことであった。議会からも再三指摘をしているが、再度強く要望する。</p> |
| <p>①ワクチンの予約は、電話とネットがあったが、電話はつながらず、ネットも使えない高齢者のことを把握していたか。</p> <p>②議員は、コロナの時代に地域に対して全く貢献していないと思う。議員は市民の方を向いて仕事してほしい。</p> | <p>①予約がスタートした時点では、議員にもいろんな苦情が寄せられた。当局へ直接話もして、コールセンターの人員を増やすなどして、徐々に改善されてきていたと思う。また、交通手段のない方へもバスの無料券を配布しており、使われていたと思う。</p> <p>②振興会の役員との懇談会で、議会活動が見えないという指摘を受けた。今後は、いただいた反省点を受け止めてしっかりと活動していきたい。コロナになってから、地域のコミュニケーションがなくなってきたと思う。コロナ対策をしながらコミュニケーションをしっかりとって地域を盛り上げていきたい。</p> |
| <p>①農業関係でコロナ対策の補助金を出すという話があったが、どのように情報を発信されたのか。集まらないので座談会もなく、兼業農家には、まったく情報が来なかった。農業だけでなく、商業、工業も含めて情報発信をお願いしたい。</p> | <p>①コロナ関係でいろんな補助金に来ていた。農協から営農組合関係で聞いた。また、ほかから問い合わせがあったので市の農林課に確認したら、JAや県の関係ということで詳しくはわからないとのことであった。誰かが情報をキャッチして流せる体制を作っていかなければならない。そういう意味では、議員も当局や関係機関に「情報はないか」と問い合わせることも大事だと思う。小矢部市の基幹産業なので、しっかりやっていきたい。</p> |